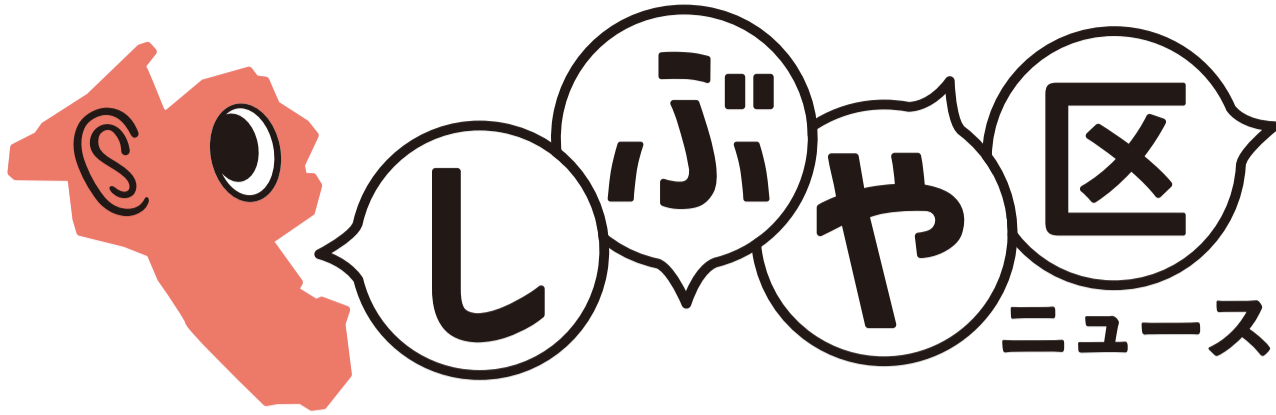


子どもも大人もお年寄りも、地域みんながつながる日。

令和3年
(2021年) 6月1日

No.1463



発行 | 渋谷区
編集 | 広報コミュニケーション課
所在地 | 〒150-8010 宇田川町1-1
電話 | 03-3463-1211 (代表)



@city_shibuya



@shibuya.city



@city_shibuya_official



@shibuyacity

区SNSは
こちら



(左から) 山崎徹さん、稲垣恵さん、飯塚健太さん、住井美由紀さん、中島珠子さん、津村京子さん

※インタビュー時は、マスクを着用、換気、社会的距離の確保を徹底し、感染対策を行いました。撮影時のみ、マスクを外して撮影しました。

「渋谷おとなりサンデー」で支え合う地域づくり。

2 | お隣さんや地域とつながり、
3 | 支え合う渋谷区に。

4 | 6月23～29日は
5 | 男女共同参画週間 ほか

6 | 警戒レベル4「避難指示」で
10 | 必ず避難してください ほか

11 | 新型コロナワクチン
12 | 接種について ほか

不要不急の外出自粛と感染防止対策の徹底をお願いします。

掲載情報は新型コロナウイルス感染症の影響により、変更となる場合があります。

お隣さんや地域とつな

渋谷のラジオで
出張インタビュー

6月の第1日曜日は「渋谷おとなりサンデーの日」。参加者されたことがある皆さん



若い世代の皆さんも、ぜひ地域の活動に参加してみてください。

初台町会会長
やまざきとおる
山崎 徹さん



緑豊かな渋谷になりますように。

気象専門書店経営者
つむらぎようこ
津村京子さん



地域の皆さんの居場所作りを今後も取り組んでいきます。

渋谷区オレンジカフェ モデレーター
なかじまたまこ
中島珠子さん

それぞれの地域で、今自分にできることを

——皆さんの自己紹介と、普段の地域活動について教えてください。

山崎：初台町会の会長を務めており、これまでも「渋谷おとなりサンデー」を盛り上げるべく、イベントのお手伝いをしてきました。町会としては、行政と関わりのある美化活動、防災活動のほか、広報活動、地域の安心安全につながるいろいろな交流活動をしています。

津村：気象庁内の気象専門書店を経営していましたが、庁舎移転のため昨年末に実店舗は閉店し、今は自宅で通信販売をしながらゆっくりと植物を育て、地域の皆さんにお分けしています。緑を増やすことは、環境を守ることに繋がりますし、植物を通じて皆さんが親しくなれたらとてもすてきななと思っています。

中島：2年前まで看護師をしていました。仕事を通じて多くの認知症の方たちと出会い、7年前から認知症の人やご家族、地域の人たちが交流できる「渋谷区オレンジカフェ」を開催しています。それから、本日、皆さんと写真を撮った富ヶ谷2丁目のバラ園「ひだまりガーデン」（1面写真）は、5年前から有志の皆さんと一緒に空き地を花壇にして、少しずつ花を増やしていった場所なんです。毎日が「おとなりサンデー」のように、今では地域住民が集う場所になっています。

稲垣：帝京短期大学生生活文化コースの学生です。ボランティア活動を通じて地域づくりや地域貢献について学んでいます。大学近くの幡ヶ谷六号坂商店街や町会の皆さんと協力して、花のバスケットの植え替えやごみ拾いなどを行っているほか、「ささはたっこ」という渋谷区子どもテーブル*のお手伝いや、子どもからお年寄りまで気軽に立ち寄って交流できる「ささはたカフェ」にも参加しています。地域の人に「ありがとう」と言われたり、会話できるのが楽しいです。

飯塚：稲垣と同じく、帝京短期大学の生活文化コースの学生です。稲垣の話の補足になりますが、笹塚十号通り商店街の「まちのお手伝いマネージャー」に参加し、車いす利用者のお買い物のお手伝いをしました。ただ、昨年からは感染症により地域でのいろいろな活動が積極的にできなくなったのが残念です。

住井：お母さんたちがつながり合えば、絵本のスイミーたちのように大きな魚になって、きっと何かができるはずだ、という思いから、

平成23年にNPO法人ふれあい子育てサロン「スイミー」を設立しました。今年で10年目になります。コロナ禍以前は1年間で300回以上サロンを開催し、2,000組以上の親子にご参加いただきました。昨年の「渋谷おとなりサンデーの日」には、オンラインのトークイベントに出演し、私たちの活動について紹介したり、地域のお母さんたちからの質問にお答えしたりしました。オンラインでも皆さんとつながることができて、とてもうれしかったです。

*食事の提供や学習支援などにより、「地域の力」で子どもたちを育てていく活動

コロナ禍だからこそ、人とのつながりが必要

——6月の第1日曜日は「渋谷おとなりサンデーの日」ですが、今年はオンラインのみでの開催となります。皆さんはどのような企画を予定されていますか。

中島：「ひだまりガーデン」で苗や種の交換をしたり、コーヒーやハーブティーを提供したりするガーデンフェスティバルを開催したいと思いましたが、対面のイベントはできなくなってしまいました。コロナ禍の今は家から出ることをためらう人が多いと思いますが、認知症の方々に限らず、多くの人にとって、みんなで集う場所や居場所があることはとても大切なんですよね。私自身もそれを実感しています。6月6日にはかなわなくても、コロナが落ち着いたらぜひ対面での企画を実現したいですね。

住井：中島さんのお話、非常によく分かります。感染を恐れて家にこもっているお母さんたちがたくさんいらっしゃって、私の所にもSOSの声が届いているんです。やはり今の時代はオンラインでのコミュニケーションが必要だと思って、私たちのNPOではお母さんたちがオンライン上でざっくばらんにおしゃべりをするトークルームをオープンしています。それから子育ての悩みを書き込める掲示板を作ったり、子育て情報を集めた映像を公開したり。「渋谷おとなりサンデー」でも、オンラインで皆さんとつながることができる場をつくりたいと思っています。

稲垣：幡ヶ谷六号坂商店街の電柱に、お花が植えてあるハンギングバスケットが掛かっているんですが、毎年「渋谷おとなりサンデーの日」

渋谷区の番組を放送中です

ラジオしゅや区ニュース

月～木 11:00/16:00/21:50 (10分間)
「しゅや区ニュース」の情報を発信します。

渋谷いきいき倶楽部

月～金 13:00/16:30 (30分間)
シニアの皆さんを応援する番組です。

渋谷の星

火 11:15 (45分間)
渋谷区で活躍する人たちが登場します。

渋谷の暮らし

金 16:00 (30分間)
地域の催しなどの様子を伝えます。

ラジオしゅや区ニュース(区長の部屋ほか)

金 11:00/17:00/19:50 (10分間)
長谷部区長が出演します。
(ラジオしゅや区ニュースの内容になる場合あり)

がり、支え合う渋谷区に。

に、普段行われている地域活動や、コロナ禍での地域のつながりの大切さについて伺いました。



地域活動を通じて、自分の見聞が広がったと感じています。

帝京短期大学学生 生活文化コース2年
いながきめぐみ
稲垣 恵さん



いつも活動している地域に、少しでも恩返しをしていきたいです。

帝京短期大学学生 生活文化コース2年
いづかけんた
飯塚健太さん



地域のお母さんが孤立しないために、つながる場所を作っています。

NPO 法人 ふれあい子育てサロン「スイミー」代表
すみい みゆき
住井美由紀さん

には、その植え替え大会をやっているんです。でも、今年はできなくなってしまったので、コロナが落ち着いたら再開したいです。

山崎：帝京短期大学の学生さんたちが地域活動に積極的に取り組んでいて、地域の活性化に寄与されているという話はよく伺っています。地域との関わりは、地域を愛する気持ちを育むことにつながると思います。令和3年4月から渋谷区立の小学校では「シブヤ科」という授業が始まりました。渋谷の伝統や文化、防災や観光を学んだり、実際に触れたりするんです。それぞれの立場で、地域に何らかの形で関わっていただきたいと思いますね。

つくっていきたくと思っています。「町会がイベントを開催する」と言うと、その地域の住人だけを対象にしているとか、高齢者のためのイベントじゃないのかとか、そんな風を感じるかもしれませんが、垣根はありません。周辺の地域の皆さんも、若い世代の皆さんも、地域の活動に顔を出してみてください。

津村：活動を通じてご近所付き合いが深まり、お互いの顔が分かるようになると、防犯対策の一つにもなりますし、生きがいを感じられる居場所も生まれてきます。これからも、地域活動を通じて多くの人たちと交流を深めたいと思います。

中島：今はどこも花が咲いている時期ですから、少し出歩くと、きれいな花が見られる場所がたくさんありますし、そこで出会った人と言葉を交わすこともあります。コロナ禍ではありますが、対策を取りつつ、一歩外に出てみてください。新しい出会いや発見があるはずですよ。

「渋谷おとなりサンデーの日」での印象的なエピソードはありますか。

津村：毎年「渋谷おとなりサンデーの日」には、植物のポット苗を地域の皆さんに差し上げています。私が花や植物を育てている庭はほとんど防虫剤を使っていませんので、昆虫がたくさん来ます。近隣の子もたちと花や昆虫に触れながら説明して、自然に親しんでもらっています。「雑草という名の植物はない」という、植物学者の牧野富太郎さんの言葉がありますね。子どもたちが自然に触れることで、優しい心が育ってほしいと思います。

山崎：3年前の「渋谷おとなりサンデーの日」では、新潟県南魚沼市から雪を送っていただきました。南魚沼市は雪国ですから、冬に雪をためておいて、夏に氷室^{ひむろ}の中で冷蔵保存できるほどたくさんあるんです。その雪を初台に運び込んで「そり滑り」ができるようにしたら、子どもたちがすごく喜んでいました。この時、南魚沼市役所の皆さんと打ち合わせを重ねたご縁で顔見知りになったんですが、それから半年後、区の町会連合会の研修旅行で南魚沼市を訪れた時に皆さんと再会して、雪を持ってきた時の話で盛り上がったんです。とてもいい思い出ですね。

どの世代も気軽に、地域に関わってみてほしい

「渋谷おとなりサンデー」に参加しようと思っている方や区民の皆さんへ、メッセージをお願いします。

山崎：あまり壁を作らず、気軽に皆さんに集まってもらえるような場所を

渋谷おとなりサンデー

“ご近所の皆さんと顔見知りになること”を目的に、区が平成29年度から行なっている取り組みです。渋谷に住む人も、働く人も、学ぶ人も誰もが自由に企画でき、開催される交流の場にも自由に参加することができます。毎年6月第1日曜日を「渋谷おとなりサンデーの日」、6月の1か月間を「地域交流・地域活動の強化月間」と定め、区内のあちこちで交流の場が生まれてきました。

※今年の「渋谷おとなりサンデーの日」の企画はオンラインのみでの開催となります。詳しくは4ページや「渋谷おとなりサンデー」のHPをご確認ください。

HP▶



皆さんのインタビューは6月1日に、渋谷おとなりサンデー当日の様子などは6月8日に「渋谷の星」で放送します。



バックナンバーはこちら▶



問 広報コミュニケーション課広報係 ☎3463-1287 ☎5458-4920



「しぶや区ニュース」では毎号、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「しぶや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人と人のつながりが広がる紙面を届けています。



周波数：

87.6MHz FM ☆公式アプリでも聴取可能



所在地 | 渋谷3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 6712-6876

FAX | 5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | shiburadi.com/